三菱重工　eco タッチリモコン　据付工事説明書　形式 RC-DX2　PJZ012D088

この据付説明書は、リモコン関連の据付方法・注意事項を記載しております。
室内ユニット・室外ユニット・他に付属の説明書と合わせてご覧ください。
正しく工事していただくために、工事前に、必ずこの説明書をよくお読みください。

1．安全上のご注意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
⚠警告　誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠注意　誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。
状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。
⊘ 絶対にしないでください。　❗ 必ず指示どおりに行ってください。
●お使いになる方は、この取扱説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠警告

●据付工事説明書に従って，専門業者が据付工事を行うこと。
施行不備があると感電、火災、故障の原因になります。

●元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。

●特殊環境，可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへは設置禁止。
油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。

●大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには据付禁止
感電、火災、故障の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

●リモコンケーブル引込口をパテでシールすること。
露・水・虫などが浸入すると感電、火災、故障の原因になります。

●病院・通信事業所などに据付ける場合，ノイズに対する備えを行うこと。
インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤作動や故障の原因になります。
リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。

⚠注意

●リモコンを下記場所に設置しない。
リモコンの故障や変形の原因になることがあります。
(1) 直射日光の当たる場所
(2) 発熱器具の近く
(3) 取付面に凹凸がある所

●リモコンの上ケースを取り外したまま放置しない。
上ケースを取り外した場合は、内蔵の基板にゴミや水分等が付着しないように、梱包箱或いは梱包袋に入れて保護してください。

2．部品確認

付属品	リモコン本体、木ねじ（φ 3.5 × 16）2 本 取扱説明書・据付工事説明書

現地手配部品

品　名	所要量	記　事
スイッチボックス 1 個用　又は　2 個用（JIS C8340）	1	壁面に直接据付ける場合は不要です。
薄鋼電線管（JIS C8305）	必要量	
ロックナット・ブッシング（JIS C8330）	必要量	
モール（JIS C8425）	必要量	リモコンケーブルを壁面に這わす場合に必要です。
パテ	適量	隙間シール用
モリーアンカー	必要量	
リモコンケーブル（$0.3mm^2$ × 2 線）	必要量	100m を超える場合は右表

延長距離が 100m を超える場合リモコンケース内を通る配線は最大 $0.5mm^2$ 以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズ変更してください。配線する際は水分等が浸入しない様な処置をおこなってください。

200m 以内	$0.5mm^2$ × 2 心
300m 以内	$0.75mm^2$ × 2 心
400m 以内	$1.25mm^2$ × 2 心
600m 以内	$2.0mm^2$ × 2 心

3．据付場所

据付方式　「スイッチボックスを使用」
　　　　　「壁面に直接据付」
配線方向　「背面」
　　　　　「上面中央」「上面左」

据付場所選定の注意事項

(1) 据付面が平らで強度を有すること。
リモコンケースが変形しないこと。
(2) リモコンが正確な室内温度を検知できる所
モコンの温度センサーを使用して室内温度を検知する場合は、必ず守ってください。
・リモコンは、部屋の平均的な温度を検知できる場所に設置してください。
・リモコンは、熱源の影響を受けない場所に設置してください。
・リモコンは、ドアの開閉による室外空気の影響を受けない場所に設置してください。
直射日光やエアコンから吹き出した風が直接あたる場所壁面温度と室内空気温度の差がでない場所
(3) エアフィルタ自動昇降機能付パネルを採用される場合は、グリルの昇降が確認しやすい場所。

設置スペース

お願い
リモコン設置壁面付近の温度と実際の室温と差が大きい場所に据付ないでください。
検知した室温と実際の室温に差がでることでトラブルの原因になります。
リモコンの検知温度補正は、検知温度全体を補正するため差を解消することはできません。

お願い
直射日光のあたる場所、周囲温度が 40℃以上・0℃以下になる場所にリモコンを据付けないこと。
日焼け・変形・誤作動・故障の原因になります。

4．据付・配線工事

正面から見た取り付け寸法図　　裏面から見た基板面

①リモコンの上下ケースの分離
・リモコン下面の凹部にマイナスドライバ等を挿し込んで軽くねじって外してください。

取り外した上ケースは，水分・ゴミが付かない様に注意してください。

②リモコン端子X，Yと室内ユニットの端子X，Yを接続してください。
配線X，Yの極性はありません。

（配線方向　「背面」の場合）

③スイッチボックスとリモコンコードをあらかじめ埋め込んでおきます。

リモコンケーブル引込口をパテでシールすること。
●露・虫などが浸入すると、感電・火災・故障の原因になります。

④下ケースに配線を通した後、スイッチボックスに２箇所固定してください。

4．据付・配線工事（つづき）

⑤斜め２箇所で固定の場合は、ケース薄肉部をきり欠いてください。
⑥リモコン上ケース端子ねじを巻く様に配線を固定してください。
⑦リモコン配線が噛みこまないように、上ケースを取付けてください。

配線接続時のご注意

リモコンケース内を通る配線は 0.5 ㎟以下とし、シースをかみこまない様に接続してください。
配線接続は、手締め（0.7N・m 以下）で行ってください。
電動ドライバーを使用すると、故障や変形の原因になることがあります。

スイッチボックスを使用しない場合（配線取出　「上面中央」「上面左」の場合）

③ケース薄肉部を配線太さに合わせ切欠いてください。

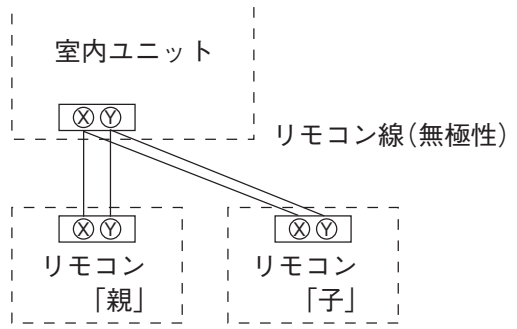
上面中央の場合は、
上下ケース分解前に実施してください。
基板内部への影響が少なく作業がやり易くなります。

上面左の場合は、
基板内部への影響を与えない様に行い、切り取った破片が内部に残らない様に注意してください。

切欠き部が大きいと、水分・ホコリ・虫の浸入の原因になります。
必要に応じてパテ等で封止してください。

④リモコン下ケースを付属の木ねじ２本で平らな面に固定してください。
⑤上面中央の場合はケース背面に配線を通してください。（斜線部分）
⑥リモコン上ケース端子ねじを巻く様に配線を固定してください。
⑦リモコン配線が噛みこまないように、上ケースを取付けてください。

5．複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット１台又は１グループに対して最大２個までのリモコンを接続できます。
片側が親リモコン、反対側が子リモコンになります。
リモコンは、親・子で操作できる範囲が異なります。

６項の操作で「親」「子」の設定をしてください。

リモコン機能	親	子
運転／停止　室温　風量　風向　操作	○	○
ハイパワー　省エネ運転 操作	○	○
省エネ運転設定	○	－
リモコンセンサー	○	－
グリル昇降操作	○	○※
試運転メニュー操作	○	－
室温設定範囲の設定	○	－
室内機の設定	○	－
フリーフロー設定	○	－
運転データ表示	○	－
異常履歴の表示	○	○
お掃除パネル操作	○	－

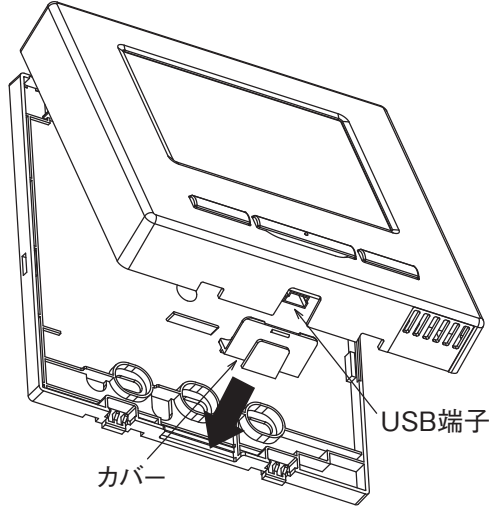
○※　eco タッチリモコン同士で親子となった場合に有効。詳細は、技術資料で確認してください。

お知らせ　パソコン接続について

USB コネクタ（mini-B）を介してパソコンからの設定が可能です。
上ケース下面カバーを外して接続してください。

使用後はカバーを元の位置にはめてください。
ホコリ・虫などが浸入すると、感電・故障の原因になります。

接続には、専用のソフトが必要です。
詳細は、ホームページ・技術資料を参照してください。

専用ソフトを使用しないで、パソコン接続をしないこと。パソコンは、他の USB 機器と同時に接続しないこと。
リモコン・パソコンの誤作動・故障の原因になります。

お知らせ　パスワード初期化

管理者パスワード（日常使用する項目設定用）と
サービスパスワード（据付・試運転・メンテナンス用）があります。
○管理者パスワード初期値は､0000 です。設定変更ができます(取扱説明書参照)。
　管理者パスワードを忘れた場合は、管理者パスワード入力画面で［ハイパワー］［省エネ］ボタンを同時に５秒長押しするとパスワードは初期化されます。
○サービスパスワードは、9999 です。設定変更ができません。
　管理者パスワード入力の時、サービスパスワードでも受付られます。

お知らせ　リモコン・室内機　との組合せ

(1)　RC-D3・RC-D4 形リモコン・ワイヤレスオプションと親子での使用が可能です。
(2)　室内ユニット　３形以降のタイプと組合せが可能です。
(3)　室内ユニット　３D形以前のタイプと組合せの場合、使用できない制御があります。
　　操作できない機能を操作・設定しようとすると、「操作無効です」と表示されます。

6．電源投入初期設定

電源投入時の表示に沿って親子リモコン設定を行います。
(1)　親子が設定されていない場合、①⇒②親子入力画面を表示します。
　　枠で囲まれた［親］［子］どちらかをタッチしてください。　　初期設定作業を開始します。
　　誤ってタッチした場合は、初期設定作業が終了後に設定変更することができます。
(2)　リモコンの親子が設定されている場合、⑥設定継続確認画面を表示します。
(3)　ecoタッチリモコン２個の親子の場合、１個目を［親］で設定開始すると ２個目は自動で［子］になります。

［親］⇒③⇒④⇒⑤
［子］⇒①⇒⑧⇒⑤

ご注意
リモコン　１台の場合は、［親］をタッチしてください。
初期状態では、どちらか選択されるまで、待ち続けます。
複数リモコンの場合は、片方の設定で、設定作業を開始します。

③室内機検索中
室内機検索中
50 %

通信が 10 分間確定しない場合、赤 LED が点滅します。

④室内機情報取得中
室内機情報取得中
終了目安 約 1230秒

［はい］継続 ⇒⑧⇒⑤
［いいえ］変更 ⇒⑦

表示 15 秒間タッチされない場合は「はい」継続を認識して⑤画面に変わります

［はい］⇒①⇒②
［いいえ］⇒⑥

初期化すると出荷状態に戻ります。

ラクリーナパネルを採用のお客様へ

［7. 据付設定 ⑰グリル昇降操作設定］を行ってください。

7．据付設定　試運転

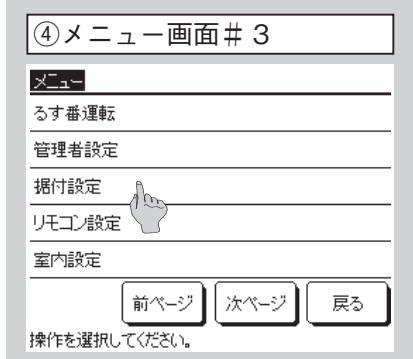
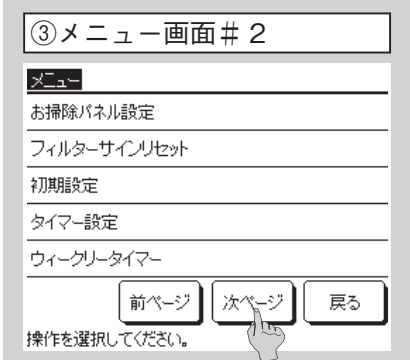
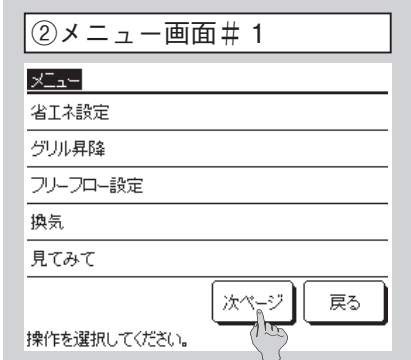
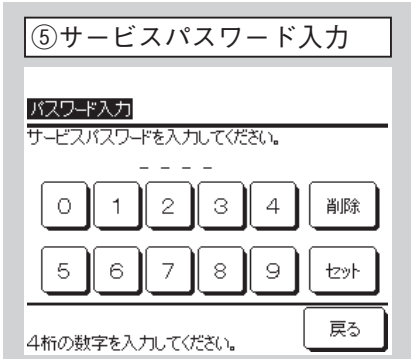
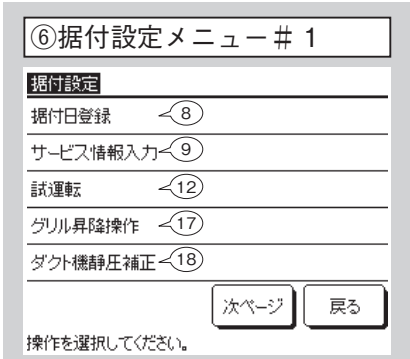
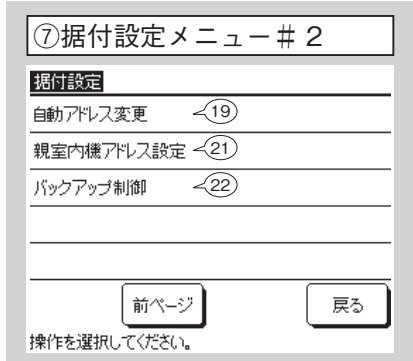
ＴＯＰ画面　⇒　メニュー　⇒　次ページ　⇒据付設定

［メニュー］ボタンをタッチしてください。

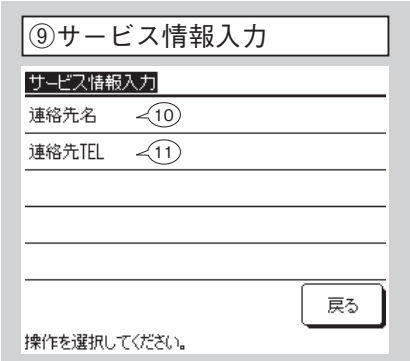
②メニュー画面＃１
メニュー
省エネ設定
グリル昇降
フリーフロー設定
換気
見てみて
次ページ
戻る
操作を選択してください。

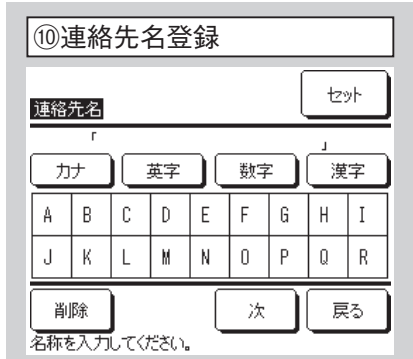
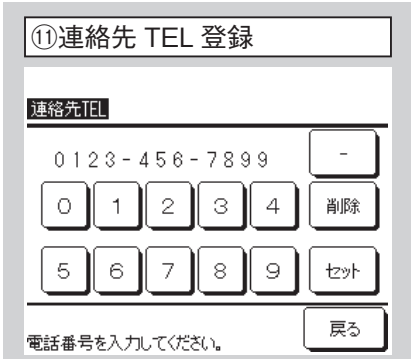
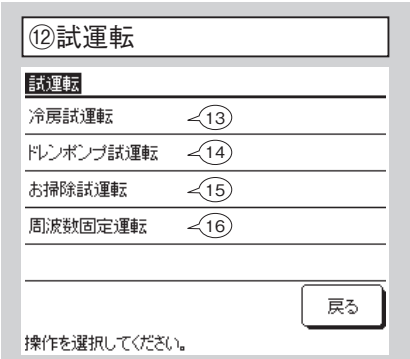
［据付設定］ボタンをタッチしてください。

サービスパスワードは 9999 です。

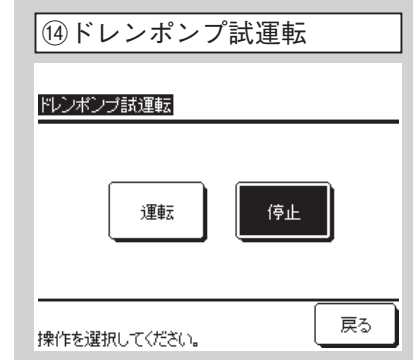
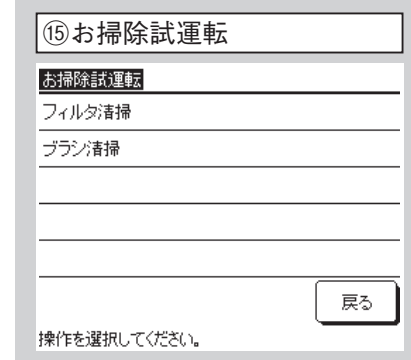
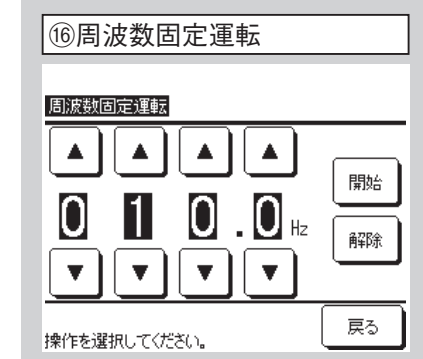
⑥据付設定メニュー＃１
据付設定
据付日登録　⑧
サービス情報入力　⑨
試運転　⑫
グリル昇降操作　⑰
ダクト機静圧補正　⑱
次ページ
戻る
操作を選択してください。

選択した画面に移ります。

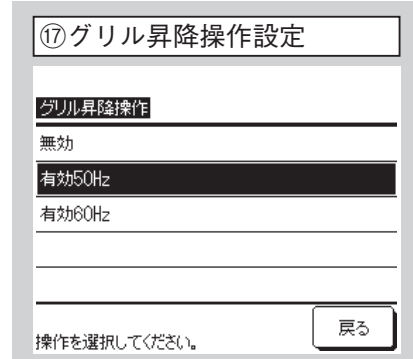
選択した画面に移ります。

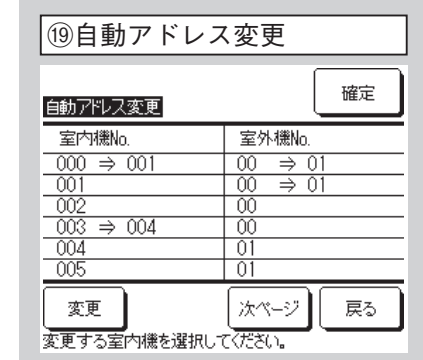
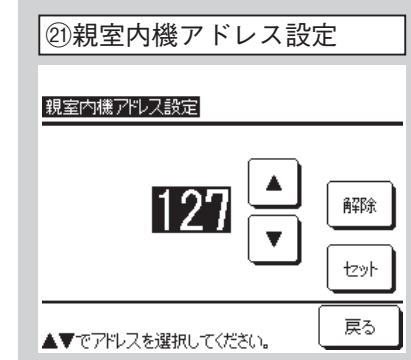
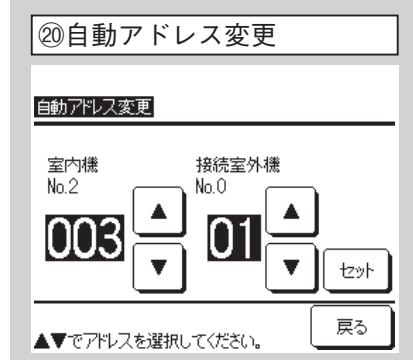
［▲］［▼］で設定してください。
［セット］で登録されます。

お客様がサービスを依頼される際の連絡先を入力してください。

⑩連絡先名登録
連絡先名
セット
カナ　英字　数字　漢字
A B C D E F G H I
J K L M N O P Q R
削除
次
戻る
名称を入力してください。

連絡先名を半角 26 文字相当以内で入力し、［セット］ボタンをタッチしてください。

連絡先電話番号を 13 文字以内で入力し、［セット］ボタンをタッチしてください。

冷暖房運転は、冷房運転中及び停止中に操作可能です。周波数固定運転は、運転中及び停止中に操作可能です。

7．据付設定　試運転（つづき）

室温が低く冷房試運転ができない場合、室温設定を 30 分間 5℃に下げて運転します。

ドレンポンプのみで運転が可能です。

フィルタ自動清掃機能付　お掃除パネルを組合せの場合に操作できます。
お掃除パネルの説明書をご覧ください。

インバータ室外ユニットの運転周波数を固定する事ができます。
［開始］ボタンより開始します。
室外ユニットにより有効に制御できない場合があります。

ラクリーナパネル設定

自動昇降パネルを組合せに関する設定を行ってください。
組合せの際は、据付場所電源周波数をタッチしてください。

機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニットに組み合わせの場合に操作できます。
機外静圧を選択し、［セット］をタッチしてください。
[AUTO] ボタンを選択し、［セット］をタッチすると、室内ユニットが自動で静圧設定を行います。
※機種により自動静圧設定ができない機種もあります。

個別発停マルチシリーズで使用の際に自動アドレス設定で登録されている場合に操作できます。
室内ユニット毎の室内外アドレスを変更するための機能です。室内ユニットを選択して
［変更］をタッチすると右の新アドレス入力画面に変わります。
［セット］をタッチすると左画面に戻り新アドレスが表示されます。
［確定］をタッチすると登録されます。

個別発停マルチシリーズで親室内ユニットのみ､冷房･暖房運転モードの選択を許可します。子とする室内ユニットに対し、親室内機アドレスを設定します。親室内機アドレスが設定された子室内ユニットは、親室内ユニットの設定に追従します。

7．据付設定　試運転（つづき）

1 台のリモコンに室内ユニット２台接続時に、以下の制御が可能です。
①ローテーション：２台の室内ユニットを設定した時間毎に、交互に運転を切り換えます。
②キャパシティバックアップ：設定温度と室温の温度差により、室内ユニットの運転台数を１台⇔２台へ切り換えます。
③フォルトバックアップ：室内ユニット２台中１台が運転している場合、運転している室内ユニットが異常停止すると、もう１台の室内ユニットが運転開始します。

ローテーションの運転を切り換える時間を設定してください。

キャパシティバックアップの１台⇔２台を切り換える設定温度を設定してください。

お知らせ
日常使用に関する下記設定は、取扱説明書・技術資料を参照してください。
- 初期設定
  - 時刻設定　時刻表示設定　サマータイム補正
  - コントラスト　バックライト　ブザー音
- 省エネ設定
  - 切忘れタイマー　ピークカットタイマー
  - 温度設定自動復帰
- フリーフロー設定
- タイマー設定
  - 時間入　時間切　時刻入　時刻切
  - タイマー設定内容の確認　ウィークリータイマー
- るす番運転
- 管理者設定
  - 操作制限設定　室外清音タイマー設定
  - 設定温度の範囲設定　温度設定刻み切換　設定温度表示切換
  - リモコン表示設定　管理者パスワード

8．リモコン機能設定　お知らせ：停止中のみ操作可能

TOP 画面　⇒　メニュー　⇒　次ページ　⇒リモコン設定

［メニュー］ボタンをタッチしてください。

③メニュー画面＃２
メニュー
お掃除パネル設定
フィルターサインリセット
初期設定
タイマー設定
ウィークリータイマー
前ページ　次ページ　戻る
操作を選択してください。

［リモコン設定］ボタンをタッチしてください。

サービスパスワードは 9999 です。

選択した画面に移ります。

⑦リモコン設定メニュー＃２
リモコン設定
温度設定単位 ⑯
ファン速度 ⑰
外部入力設定 ⑱
換気設定 ⑲
ルーバー制御 ⑳
前ページ　次ページ　戻る
操作を選択してください。

リモコンの親子設定を変更する場合に操作します。

室内ユニットの吸込センサーの検知温度によりサーモ判定を行います。
1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる吸込温度センサーを選択できます。
①個別：各々の室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。プルーラル接続されている場合はプルーラル親機の吸込温度を基準とします。
②親機：接続されている室内ユニットの中で、アドレスの若い室内ユニットの吸込温度でサーモ判定します。
　1 台のリモコンに、プルーラル接続が複数接続されている場合は、プルーラル親機間でアドレスが若い室内ユニットの吸込温度を基準とします。
③平均：接続されている室内ユニットの吸込温度を平均し、サーモ判定します。

8．リモコン機能設定（つづき）

お知らせ
リモコンセンサー有効中
(1)　室温表示は、リモコンセンサー検知温度になります。

室内ユニット本体吸込センサーをリモコン側に変更できます。
［無効］本体側センサーになります。
［有効］リモコン側センサーになります。
[有効(暖房のみ)］暖房中リモコン側、暖房以外で運転中は本体側になります。
[有効(冷房のみ)］暖房以外で運転中はリモコン側、暖房中本体側になります。

⑫リモコンセンサー補正
リモコンセンサー補正
冷房時補正 ⑬
暖房時補正 ⑭
戻る
操作を選択してください。

リモコンセンサー検知温度の補正ができます。
［冷房時補正］⇒ ⑬ 画面へ
［暖房時補正］⇒ ⑭ 画面へ

⑬冷房時補正
冷房時補正
▲▼で補正温度の変更ができます。
+1 ℃
セット
戻る

冷房運転中のリモコンセンサー検知温度補正ができます。
－３～＋３の範囲で設定します。

暖房運転中のリモコンセンサー検知温度補正ができます。
－３～＋３の範囲で設定します。

各運転モード毎に有効・無効を設定可能です。
冷房又は暖房を無効にした場合、自動も無効になります。

設定温度の単位を設定します。

ファン速度選択の変更が可能です。
室内ユニットにより対応できない場合があります。

1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT の入力の適用範囲が設定されます。
［個別］CnT 入力された室内ユニットのみに適用されます。
［全台］リモコンが接続されている室内ユニット全てに適用されます。

8．リモコン機能設定（つづき）

⑲換気設定
換気設定
無効
連動
単独操作
戻る
操作を選択してください。

換気組合せが設定されます。
［無効］接続無し
［連動］エアコン運転／停止に、換気も連動します。
［単独操作］メニューから換気を選択により換気単独で運転 / 停止します

［４位置停止］吹出ルーバーを４段階で設定可能
［フリー停止］リモコンＳＷ操作直後の位置に停止します。

㉑停電補償
停電補償
有効
無効
戻る
操作を選択してください。

運転中に停電した場合、
［有効］停電復旧（電源投入後の制御終了）しだい、停電前の状態に戻ります。
［無効］停電復旧後、停止します。

㉒設定温度自動
設定温度自動設定
有効
無効
戻る
操作を選択してください。

［有効］室温設定画面から自動の選択が可能になります。
［無効］室温設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

㉓風量自動設定
風量自動設定
有効
無効
戻る
操作を選択してください。

［有効］風量設定画面から自動の選択が可能になります。
［無効］風量設定の画面上に自動の選択スイッチが表示されません。

9．室内機能設定　お知らせ：停止中のみ操作可能

TOP 画面 ⇒ メニュー ⇒ 次ページ ⇒ 室内設定

［メニュー］ボタンをタッチしてください。

［室内設定］ボタンをタッチしてください。

サービスパスワードは 9999 です。

複数室内ユニットを接続の場合、接続された室内ユニットが表示されます。
［アドレス］各室内ユニット毎に個別設定されます。
［全台］全台同一設定されます。

室内ユニットからデータ受信後⑨へ

選択した画面に移ります。

9．室内機能設定（つづき）

室内ユニットの風量タップを設定します。組合せ室内ユニットにより対応しない場合があります。

	標準	FDTお掃除
表示なし	無し	無し
設定 1	180Hr	1,00Hr
設定 2	600Hr	2,000Hr
設定 3	1,000Hr	2,500Hr
設定 4	1,000Hr後運転停止	2,500Hr後運転停止

フィルターサイン点灯時間を設定します。

室内ユニット CnT 入力時の制御を設定します。
詳細は、技術資料を参照願います。

室内ユニットCnTへの入力信号方式を設定します。
詳細は、技術資料を参照願います。

外部入力２を装備している室内ユニットと組合わせた場合に操作できます。
詳細は、技術資料を参照願います。

暖房サーモ判定温度を補正します。
0℃／+1℃／+2℃／+3℃

本体吸込センサー検知温度を補正します。
-2℃／-1.5℃／-1℃／0℃／+1℃／+1.5℃／+2℃

冷房サーモ OFF 中のファン速度設定
［弱風］弱風運転
［設定風量］サーモ ON 中と同風量
［間欠］2 分 Lo(ULo)運転／5 分停止
［停止］停止

9．室内機能設定（つづき）

暖房サーモ OFF 中のファン速度設定
［弱風］弱風運転
［設定風量］サーモ ON 中と同風量
［間欠］2 分 Lo(ULo)運転／5 分停止
［停止］停止

フロスト防止制御温度の切換ができます。

フロスト防止制御後、ファン速度が
［有効］アップします。
［無効］変化しません。

［通常］冷房・除湿時に運転
［暖房時連動］通常＋暖房
［暖房 / 送風時連動］全運転中
［送風時連動］通常＋送風

冷房運転、停止又はサーモOFF後の残留時間を設定します。
設定 1：0.5 時間
設定 2：2 時間
設定 3：6 時間

暖房運転、停止又はサーモOFF後の残留時間を設定します。
［設定 1］0.5 時間
［設定 2］2 時間
［設定 3］6 時間

※残留時間が異なる場合があります。

暖房運転、停止又はサーモOFF後のファン制御を設定します。
［非連動］停止
［20分停止 5分送風］25分毎に条件チェックして５分送風
［5分停止 5分送風］10分毎に条件チェックして５分送風

サーキュレーター運転として使用する場合
［無効］送風時連続運転
［有効］送風時リモコンと本体の温度差を見て送風運転／停止します。

マルチシステムにて、外調機の場合に設定します。
［圧力制御標準］通常
［圧力制御切換］運転中の室内ユニットが全て、この設定の場合、圧力制御値が変わります。

9．室内機能設定（つづき）

自動 1：設定温度と室温の温度差で、冷房／暖房が切換わります。
自動 2：設定温度と室温の温度差及び外気温度で冷房／暖房が切換わります。
自動 3：室温及び外気温度で、冷房／暖房が切換わります。

自動運転、冷房／暖房切換方式を３方式から選択できます。
各方式の条件を設定をします。詳細は、技術資料を参照願います。

冷房／暖房の切換温度を設定します。
切換わり温度は１～４℃の範囲で設定できます。

冷房／暖房の切換温度、冷房／暖房室外温度を設定します。

冷房／暖房室外温度、冷房／暖房室内温度を設定します。

お知らせ
自動運転が３タイプに増えました。
外気温が低いのに冷房をしている。２台設置で片側が冷房・反対側が暖房をしているなどと感じることはありませんか？　自動２・自動３では外気温度を検知して制御することで改善しました。

室温制御、サーモ ON ／ OFF 切換方式・条件の設定
［通常制御］室内温度と設定温度の差でサーモ判定をします。
［外気温度制御］外気温度でサーモ判定します。室温設定は無効となります。
詳細は、技術資料を参照願います。

風量自動の切換範囲を設定
［自動 1］急⇔強⇔弱
［自動 2］P 急⇔急⇔強⇔弱

運転開始 30 分後、設定温度が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力（CNT）から過負荷アラーム信号を送信します。

10. サービス・メンテ方法

TOP 画面 ⇒ メニュー⇒ 次ページ⇒ サービス・メンテナンス

［メニュー］ボタンをタッチしてください。

［サービス・メンテナンス］ボタンをタッチしてください。

サービスパスワードは 9999 です。

選択した画面に移ります。

選択した画面に移ります。

８台以上接続の場合は、次ページ以降に表示がでます。室内ユニット選択後［個別送風］ボタンをタッチすると、選択した室内ユニットが送風運転します。

［運転］をタッチすると、送風運転開始。
［停止］をタッチすると、送風運転停止。

次回点検日を入力すると、点検月の運転開始／停止時メッセージが表示されます。
表示は、次回点検日を更新するとリセットされます。
［設定なし］をタッチするとメッセージは表示されません。

10. サービス・メンテ方法（つづき）

運転データが表示されます。［全更新］タッチで全データが更新されます。
データを自動更新させて表示したい場合、6 項目まで選択できます。6 項目選択後、［選択表示］ボタンをタッチすると⑳の画面に変わります。

選択した画面に移ります。

異常発生日時・室内アドレス・異常コードを表示します。
［消去］ボタンをタッチすると、異常履歴を消去します。

異常発生直前の運転データが表示されます。

10. サービス・メンテ方法（つづき）

異常発生直前の運転データが表示されます。

異常時運転データが消去されます。

定期点検リセット操作により、時間カウントがリセットされます。

フィルタ自動清掃パネル組込みの場合。お掃除パネル説明書を参照ください。

［室内設定を保存］リモコンに接続されている室内ユニットすべての設定をリモコンに保存します。
［室内設定自動保存］毎日の自動保存時刻を設定します。
［保存データの転送］リモコンに保存した室内設定データを室内ユニットに転送します。

毎日の自動保存時刻を設定します。［設定なし］を選択すると、自動保存は行いません。

転送する室内ユニットを選択すると、確認画面が表示されますので、データ転送を行ってください。

お知らせ

室内機基板を交換したが、設定内容が判らなくなったことはありませんか？
リモコンに室内機設定を保存しておくと、［保存データの転送］により、保存されたデータを室内機に書込まれます。

10. サービス・メンテ方法（つづき）

［室内機アドレス消去］マルチ室内ユニットの記憶が消去されます。
［CPU リセット］接続されている、室内ユニット・室外ユニットのマイコンがリセット（停電復帰状態）されます。
［初期化］接続されている、リモコン・室内ユニットの設定が初期値（出荷状態）になります。
［タッチパネル調整］表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。

選択した画面に移ります。

表示とタッチ位置が一致しない場合に調整します。
画面の指示にそって、［+］マーク中心をタッチしてください。
［確定］で終了します。